



園だより

2025年7月1日

末長こぐま保育園

辻 敦美

先月は、梅雨の季節でも真夏のような暑い日が多く、お散歩の時間を短くしたり戸外での活動を控える日もあったりと制限することがありました。園庭に出たときは、熱中症対策もかねてホースで大雨のように水を撒くと乳児も幼児も大喜びで水に向かって突進し、また、帽子を水で濡らしてかぶせると「気持ちいい！」とニコニコな子どもたち。泥んこ遊びに発展してしまったことも多くあり、お洗濯のご協力に感謝申し上げます。今月は本格的に水遊びがスタートします。子どもたちにとっては大好きな活動ですが、体調の変化を見落とさず安全に行うことを徹底し努めてまいります。また、10日・11日の2日間なつまつりを行います。幼児クラスになると、3・4・5歳児で「なかよしグループ」を作ります。保育園での三兄弟、姉妹です。長男、長女は頼りになるきりん組さん。次男、次女は真ん中で支えてくれるぞう組さん、そして、末っ子は可愛いらしいうさぎ組さんです。それぞれのグループが協力してお店に出店する物を一生懸命に作っています。当日は、乳児さんも買い物やゲームを楽しみます。今月も子どもたちが生き生きと活動できるよう保育を工夫し、育ちを支えていきます。



5、6月にかけて法人研修で「ITOCHU・SDGs・SDUDIO こどもの視点カフェ」に職員全員が行きました。概要としては、こどもの視点に立ち、こどもの気持を理解する体験型カフェです。「SDGs」という言葉を恥ずかしながら初めて知り、どのような意味なのかを調べて見ると、世界が2030年までに達成すべき17の目標「Sustainable・Development・Goals」の略で、具体的には貧困や飢餓、不平等、気候変動など様々な問題を解決し持続可能な社会を実現することとありました。そして、SDGsにおいて一番大切なことは、子どもたちの命と健やかな成長と権利を守るということだと記しています。大きなテーマですね。体験型カフェはSDGsをもとに、こどもの視点ラボの方々が中心となって作られた施設です。このラボでは、「大人がこどもになってみることで」親と子、社会とこどもの関係をよりよくしていくことを目指して楽しく研究、活動しているそうです。実際に体験してみましたが、知らなかったことがたくさんあり、また、コーナーを回りながら保育の現場の様々なシーンが頭に浮かび考えさせられたり、反省したりと有意義な時間でした。子育ての中でイライラすることや、「何でわかってくれないのだろう」「何を考えているの」「どうすればいいの」と思うことがたくさんありますよね。保育の現場でも同じです。答えを見つけるために、本やネット検索から様々な情報を知識として得ることはできますが、何が正解か迷い、かえって不安になることもあると思います。そのような時「こどもになってみる」ことで、立ち止まることができたり、考え方がかわったり、そして、気持ちが軽くなることにつながり、そこから言葉のチョイスや伝え方、関わり方を変えるきっかけになるかもしれません。親子で楽しめる場所で、隣にはキッズパーク（遊びを通してSDGsを考える施設です）もあります。是非、夏の思い出にお子様と一緒に出掛けてみてはいかがでしょうか。また、「こどもの視点」の本を絵本コーナーに置きましたのでご覧ください。

～今月の行事予定～

- 1日（火） 水あそび開き
- 4日（金） 園医健診
英語で遊ぼう（幼児クラス）
- 7日（月） 七夕集会
- 10日（木） なつまつり（1日目）
- 11日（金） なつまつり（2日目）
- 18日（金） 英語で遊ぼう（幼児クラス）
- 25日（金） 避難訓練
- 31日（木） 誕生会



～お知らせ～

- ★7月10日（木）4・5月分の利用料が指定口座より引き落としとなります。振替の方は、ご準備ください。AirPay・PayPay等をご利用の方は、7日（月）～11日（金）の間に事務室にてお支払いください。
- ★7月中旬頃、おがーるにて8月9日（土）～16日（土）までの登園予定をお伺いいたします。すでに、お休みがわかっていたら、担任までお知らせいただけますと幸いです。